

# 平成 28 年度 議会運営委員会行政視察報告書

平成 29 年 2 月 7 日（火） 安城市  
「議会の ICT 化の取り組みについて」

上記の視察項目について全委員の報告書を添付し報告とします。

議会運営委員会	委員長	毛受	明宏
	副委員長	早川	直彦
	委員	富永	秀一
	委員	鵜飼	貞雄
	委員	蟹井	智行
	委員	宮本	英彦
	委員	ふじえ	真理子
	委員	近藤	千鶴

## 議会運営委員会行政視察報告書

視察日 平成 29 年 2 月 7 日

視察先 愛知県安城市

視察内容 議会 ICT 化の取り組みについて

参加者 委員長 毛受明宏・副委員長 早川直彦・議長 月岡修一・議会事務局  
近藤千鶴・藤江真理子・宮本英彦・蟹井智行・富永秀一・鶴飼貞雄

平成 22 年 7 月に行った市民アンケートにて「議会は市民に対して開かれていると思いますか？」の質問に対して、「開かれている」と答えた市民は 15%の結果を踏まえ、議会の見える化の取り組みを始めた。

議会の見える化として、議員の編集による議会だよりの発行や、議会報告会の施行実施などを経て、平成 27 年 6 月に ICT 推進プロジェクトチームを立ち上げ、平成 28 年 3 月議会より iPadPro を導入してペーパーレス議会を開始した。

ペーパーレスを実現するためのアプリ(SideBooks)を利用して、議員一人当たり年間 1 万枚の紙の使用量削減とコピー・製本・差し替えなどの事務局作業も軽減した。

議員によっては得手不得手がある電子機器使用についても、ICT 推進プロジェクトの委員が中心となる勉強会も実施し、議会以外でも地域の議会報告などで迅速な資料説明に役立っている。

他議員活動として、グループウェア(サイボウズ)を導入し、電話・FAX・郵送を当ソフトにて管理している。議会事務局もグループメールにて確認作業も軽減され、各議員の日程管理などに役立っている。

本会議場内使用ルールとして、議会と関係の無い使用は禁止、会議中は録音・録画・音量 OFF・外部通信を禁止し、タブレット使用(会議中関係の無い HP 閲覧等)に関しては議員一人一人の自己責任としている。

### 【まとめ】

安城市議会の議会 ICT 化の取り組みは、全国でも先進的な取り組みとして高評価と聞いて勉強になりました。ペーパーレスで紙の資料削減と議会事務局管理としてもグループウェアの導入で作業軽減が可能で利便性は高いと思った。

豊明市でも昨年 12 月議会より試行としてノートパソコン・タブレットの持ち込みを行っているが、各議員の温度差も感じる。

使用方法が一番のポイントでもあるので機器の統一導入をすれば議員同士にて意見の交換も可能。議会効率化と議員活動充実に繋がるのであれば機器統一導入を考えるのも一案として考えてたい。

提出者 毛受明宏

## 議会運営委員会行政視察報告書

早川 直彦

日 時 平成29年2月7日  
場 所 愛知県安城市議会  
視察内容 議会ICT化の取り組みについて

### 議会ICT化の取り組みについて

安城市議会では平成22年7月に市民アンケートを実施し、「市議会は市民に対して開かれていると思いますか？」の質問に対し、「開かれている」と答えた市民はたった15%。「開かれていない」・「どちらとも言えない」と答えた方で、「活動がわからない」が37.2%、「市民との接点が少ない」が30.6%、「情報が少ない」が23.9%という結果を踏まえ、議会の見える化の取り組みを始めた。

議会の見える化として、議員の編集による議会だよりの発行や、市民の意見が割れている中心市街地拠点施設建設に関する検討プロジェクトを立ち上げ、市長に提言書の提出・市民説明会を市執行部と共同で開催するなど、議会活動の周知や市民との接点など高めてきた。

平成27年6月にICT推進プロジェクトを立ち上げ、平成28年3月までに計15回の会議を開催。平成28年3月議会より、発売されたばかりのiPad Proを使用したペーパーレス議会が開始された。

ペーパーレス化を実現するためのアプリ（SideBooks）を利用し、PDF化され議案などに、アプリのツールを使い手書きのように線を引くことや、蛍光ペンのように色を変えることができ、議案に文字入力をして貼り付けすることができ、保存できる。また、iPad Proの利点として、Apple Pencilでキーボードを使わなくてもペンのように入力でき、また、2画面並べて議案と必要なツールを一緒に使用することが出来る。

ICT推進プロジェクトの委員が中心となり、iPad Proの使用法の勉強会を実施。電子機器の苦手な議員も使えるようになり、議会外でも活用している。

議員の中には、地域での議会報告の場でiPad Proを用いて、説明や資料の公表などを行っている。

iPad Proを使用する2つ目の利点は、グループウェア（サイボウズ）を導入し、事務局が書類の整理、議会のスケジュールの連絡などである。

議員の連絡に、電話・FAX・郵送しなくても、グループメールで一斉送信することもでき、また、事務局がグループメールを確認したかもわかり、事務局の事務量の削減につながる。また、各議員の日程管理や、議員同士のメール送信などもできる。

iPad Proの利用については、普段の議員活動で利用を可とし、グループウェアとペーパーレス会議システム以外に必要なソフトウェアは各自で判断してインストールを認めている。

本会議のルールとして、議員活動とは無関係な用途に用いることは禁止している。（議会中に録音、録画、音を出す、外部とのやり取りは禁止。）

iPad Proの使用に関しての市民からの苦情は、議員の自己責任としている。

## 感 想

多くの議会でICT化の取り組みが検討され、全国的にタブレットを用いた議会が増えてきている。今回初めて、ペーパーレス会議システム（SideBooks）を体験し、メモの取り方・メモの保存方法など、思っていたより簡単に操作できることを知った。議会IT化検討委員会のメンバーの中で、無料で使える簡易版のグループウェア（サイボウズ）を利用しているが、改めて議員のスケジュール管理や連絡など、確認することができた。

当市議会においても、議会の見える化を進めるために、議員が事務局任せにしていた議会だよりの編集に積極的に参加したり、本会議・委員会の放映開始、本会議・委員会の会議録の公表、政務活動費・各常任委員会の視察報告など、先進的に取り組んでいる。

昨年12月定例会議会より試行として、ノートパソコン・タブレットの持ち込みをしているが、議会でのICT化を成功させるためのも、議会と当局の両方合わせて取り組む必要がある。機器導入には予算も伴うことから、すぐにタブレット導入は難しいかもしれないが、議会IT化検討委員会のメンバーの一人として、タブレット導入が実現できるように、今後も検討していきたい。

以 上

提出日 平成 29 年 2 月 17 日  
氏 名 富永 秀一

## 行政視察報告書

以下のとおり行政視察の報告を致します。

1. 所 属 議会運営委員会
2. 視察日・視察先 平成29年2月7日 愛知県安城市
3. 視察内容

### 「議会の ICT 化の取り組みについて」

#### ■主な内容

##### □ICT 推進プロジェクトチーム立ち上げへ

- ・平成 22 年 7 月に行った市民アンケートで、市議会は市民に対して開かれていると思うかという問いに対し、開かれていると答えた市民はたった 15%で、議会の見える化が必要と認識した。
- ・議員の編集による議会だよりの発行、議会報告会の試行実施などを経て、平成 26 年 6 月、議会 ICT 化の議論が議会改革検討委員会で始まる。
- ・平成 27 年 5 月議員への連絡を FAX から電子メールに移行。
- ・平成 27 年 6 月議会 ICT 推進プロジェクトチーム立ち上げ。
- ・議会の足並みをそろえるため、各会派からプロジェクトチームにメンバーを出してもらい、メンバーがきめ細かく各議員に対応することで、全員がついて来られるように、そしてついて来るように努力した。



##### □議会 ICT 化の目的

###### 議会運営の効率化、迅速化

- ・議員 1 人あたり年間 1 万枚にもものぼっていた紙の使用量を減らす。コピー、製本、差し替えなど事務局の作業の軽減、スピードアップ。

###### 議会の見える化・魅せる化

- ・議会のライブ中継、SNS の活用など議会情報の積極的公開。市民との距離を縮める。
- ・分かりやすい議会運営、議会の魅せる化。
- ・大型スクリーン導入、説明資料、持ち込み資料の電子化。

###### 危機管理体制の強化

- ・災害情報の共有化、情報伝達の迅速化。

###### 議会の活性化・議員の資質向上

- ・情報伝達の迅速化、確実性の向上。

## □議会 ICT 化の手順

- ①現状調査 ICT 化に対する各議員の意識調査。
- ②情報システム業者へのヒアリング
- ③執行部との意見交換、推進体制の検討
- ④システム構成、導入機器、費用の検討(グループウェア、ビューアー・会議システム、端末など)
- ⑤利用規約、費用負担などルール作成
- ⑥議員の操作、知識教育

## □運用の実際

- ・グループウェアは「サイボウズ Office」国内シェア NO.1、試行導入していた会派も。導入費用 28 万 5000 円。年 18 万 3000 円。
- ・会議システムは「SideBooks」機能、操作性、セキュリティ、保守サポートなど MoreNote と比較検討の結果。導入費用 17 万 3000 円。年 38 万 9000 円。
- ・端末は「12.9 インチ iPad Pro」操作性、視認性から議会としては全国で初めて導入。A4 資料がそのままのイメージで参照できる。2つのアプリを画面分割で立ち上げられる。操作教育しやすいため全員統一して導入。
- ・端末の費用は月々公費 2500 円、政務活動費 2000 円。年 178 万円。
- ・買い取りだと市の資産となり庁舎外に持ち出せないためレンタルに。故障・修理は無償対応。紛失も年 2 回まで無償対応。
- ・タブレットを外でも積極的に使うようにした。ただし、私用は禁止にした。
- ・ソフトウェアのインストールは各自の判断。
- ・議会中に録音、録画、音を出す、外部とのやり取りは禁止。
- ・使い方について市民から問い合わせがあった場合、市民への説明は自己責任。
- ・平成 28 年 2 月全議員協議会でペーパーレス会議を試行。運用開始。
- ・当初 1 年間は紙と電子の併用としていたが、3 月定例会後、議案書などの紙は不要との声が上がった。
- ・5 月臨時会は希望者を募り紙を配布。(9 人)
- ・6 月議会から紙は各会派に原則 1 部ずつ配布。議場では全議員タブレットの活用で一致。
- ・タブレット端末操作の研修会を計 9 回実施。
- ・12 月議会では紙の配布数 89.7%減。

## □今後の課題

- ・手書き入力 of 改善。遅い。
- ・編集画面と閲覧画面の切り替え速度の改善。
- ・予算書、決算書の取扱い。
- ・改選後の端末、データの取扱い。

## ■視察の成果

議会 IT 化作業部会を設置し、検討を進め、議場等への情報端末の持ち込みを試行している我々にとって、タイムリーな視察だった。

作業部会や我が会派では無料のサイボウズ Live を使用しているが、サイボウズ Office だと、通知が確実に届いたか、資料を誰が見ていないかなどが確認できるのは良いと思った。

会議システムは、日進市との合同研修会で MoreNote を試用でき、今回 SideBooks に触れたので、違いも見られて良かった。

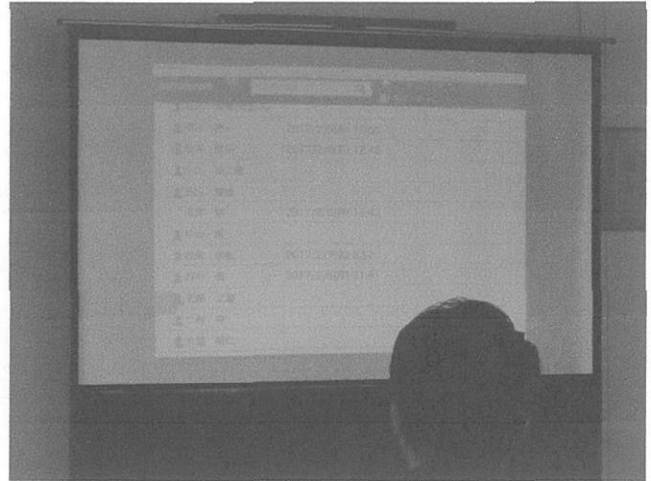
グループウェアについては、現在郵送で行われている事務局からの通知をどうするかという件もあるので、何らかのシステムを導入する可能性が高いと思うが、会議システムについては、ペーパーレス化を一気に進めやすいメリットがあるが、システムが不具合を起こすと会議が止まるリスク、費用が高めという課題もあるので、しっかりデモンストレーションなどで体感した上で、導入するかどうかも含めて検討する必要があると思う。

端末については確かに 12.9 インチの画面は見やすいと思った。2 画面にできることも良いと思った。ただし、かな入力が本体ではできないなど、日本語入力には苦労しそうなので、おそらく導入することになっても、iPad は閲覧用にして、メモの入力や検索等は自前のノートパソコンで行うのではないかと思った。

全員で統一した端末を導入するかどうか、メリットとコストなどをしっかり検討して決める必要があると思った。

今後の議会 IT 化の検討において、今回の視察で知ったこと、体感したことを十分活かしていきたい。

以 上



各議員が閲覧した日時などがわかる  
グループウェアの画面

# 議会運営委員会行政視察報告書

提出者 鵜飼 貞雄

視察期間：平成29年2月7日(火)

視察先：愛知県安城市議会

視察目的：議会のICT化の取り組みについて（安城市議会）

## 議会ICT化について

- ・12.9インチのipad proを全議員に配布したのは全国初の事例。タブレット導入は単にインフラ整備で、真の目的は議会と市民が身近に繋がることを目的とした。また、ペーパーレスはもとより、事務スピードの改善による人件費削減等歳出抑制効果も期待される。
- ・議会ICT化プロジェクトチームは16人会派より2名、3人会派より1名×3会派、諸派より1名と各会派よりメンバーが選出された。その事により、タブレット操作がわからない議員も会派内にプロジェクトチームのメンバーがいることで、操作説明を迅速に受けることが可能である。
- ・タブレット導入にあたり、私費は投じず公費と政務活動費で負担している。また、公費での買取とすると市の資産となるため、今回このようなレンタル式とした。タブレットの持ち出しを推進することで、出先での議員活動効率化がはかれると同時に、各議員のタブレット操作も早い段階で対応できた。
- ・事務局からの議会開催通知等は今までファックスにより行われていて、今はサイボウズオフィス（グループウェア）で管理されている。ここにも事務局の作業量を軽減する取り組みが行われている。
- ・現在でも紙資料は各会派に1部ずつ置かれているが、全議員がタブレットでの議会運営を行っている。他市町では予算書や決算書はタブレットでは見づらいため、今でも紙媒体で取り扱っている意見が多かったが、安城市では12.9インチの大型画面によりその心配はないようである。しかし、予算書と決算書が1画面で見ることができないので、今後は対応していきたい。

### まとめ

安城市の議会ICTは全国でも先進的な取り組みと評価されている。豊明市議会では現在各個人のタブレットやPCを試行的に議場持ち込みしているが、予算があるのであれば、ソフトの関係などから機種は統一導入したほうが効率は良いと思う。データの保存方法や期間、また情報管理等様々な課題に対してどのように解決していくか議論の余地がある。議会の効率化や議員活動の充実により、市民サービス向上に繋がるのであれば導入は前向きに検討すべきである。



期 日 2017年2月7日(火)  
 視察先 愛知県安城市議会  
 視察内容 議会のICT化の取り組みについて

安城市役所にて安城市議会議員深津修 ICT推進プロジェクトチーム副座長から説明を受けた「安城市議会 ICTへのチャレンジについて」の内容

SideBooks ペーパーレス議会システム「サイドブックス」を2016年2月運用開始  
 グループウェア「サイボウズ」を2016年1月に導入

#### 安城市議会 ICT化の年表

平成28年2月	安城市議会の情報通信機器使用基準)の決定 タブレット利用講習会を実施 全員協議会にてペーパーレス会議の試行開始
平成28年1月	タブレット端末納入業者が競争入札により決定 電子スケジュール、掲示板(グループウェア)の運用開始
平成27年12月	タブレット端末の機種を決定
平成27年11月	安城市議会 ICT 推進基本計画を策定 ペーパーレス会議システムおよびグループウェアのソフトウェアを選定
平成27年8月	全議員に対してペーパーレス会議システムのデモを実施
平成27年7月	議会 ICT 推進における検討事項をプロジェクトチームで採択
平成27年6月	議会 ICT 化を目指し議会改革検討委員会の下部組織として 議会 ICT 推進プロジェクトチームを6名体制で発足
平成26年度	議会改革検討委員会で議会の見える化に対する議会 ICT 化の議論を開始 議会運営委員会にて埼玉県飯能市にタブレット端末導入について行政調査を実施
平成25年度	議会運営委員会にて神奈川県逗子市にタブレット端末導入について行政調査を実施
平成24年度	各会派に公費でノートPCを配布(3人につき1台程度) 議員控室のWiFi化(無線LAN)



感想 安城市のICTへのチャレンジ内容を見ると、豊明市でも導入は可能だと感じました。要は、それに向けてやる気があるかないかだと思います。平成30年度の豊明市議会ICT化の予算要望に向けて、頑張っていきたいと強く思いました。

平成 28 年度 議会運営委員会行政視察報告書

議会運営委員会委員 宮本 英彦

- ・視察日時 平成 29 年 2 月 7 日 (火) 9 時 50 分～11 時 30 分
- ・視察先 安城市議会
- ・視察項目 議会の ICT 化の取り組みについて
- ・視察内容 ※視察時の説明及び議会 ICT 化資料 (安城市議会ネット) から
  - ① 安城市議会は平成 19 年、一般質問に一問一答方式を導入、その後、代表質問・一般質問のインターネット録画放映の開始、議会基本条例の制定など、「開かれた議会」を目指し議会改革検討委員会で検討されてきた。
  - ② 平成 27 年 7 月、市議会は「開かれた市議会」に関する市民アンケートを実施した。その結果、「開かれている」の回答はたった 15%であり、市議会あるいは議員の活動が分からない、市民との接点がない、情報が少ないが 90%を占めていた。
  - ③ アンケート結果について議会は、「情報発信する市議会と情報を受け取る市民の双方が今一歩消極的である」と評価した。
  - ④ このアンケート結果を踏まえ、議会は、市民に開かれた市議会のなお一層の実現と、効率的で迅速な議会運営、議会・議員の活性化、危機管理体制の強化などを目的として「議会 ICT 推進プロジェクトチーム (各会派で構成・6 名)」を平成 27 年 6 月に発足させた。
  - ⑤ 執行部と議会との協業体制とするかを検討したが、議会との温度差が明らかになり、議会単独で ICT 化を推進することとした。
  - ⑥ 平成 28 年 2 月からタブレット端末を導入した。機種は I padPro (12.9 インチ、ソフトバンク) 3 年 3 ヶ月のレンタル、レンタル料は月額約 4,500 円 (定価 7000 円)。公費で 2,500 円、政務活動費 2,000 円、私費は無し (私費は執行部が反対したため)
  - ⑦ 導入費用は、グループウェア (サイボーズ) 285,000 円 (ランニングコスト 183,000 円/年) 会議システム (サイドブック) 173,000 円 (同 389,000 円/年)、タブレット使用料 1,780,000 円/年、議場 Wifi 整備 3,100,000 円 (同 16,200 円)、本会議ライブ中継 729,000 円 (同 182,000 円/年)、ネット回線料金 212,000 円 (同 9,200 円/月)、その他備品 100,000 円
  - ⑧ 試行後のペーパーレス化の実績は 64.7%減 (執行部の紙を除く)
  - ⑨ 現在は予算・決算議案もすべてタブレットを使用。不慣れな議員への研修も実施し全員が活用している。

<視察を終えて>

- ① 会議・日程管理など、便利なソフトが多く開発されており、実際にタブレットを使用した、比較的簡単であった。
- ② タブレット導入の目的は、第一が市民との情報共有、第二が市民参加による会議運営、そして第三がペーパーレス化によるコスト削減と位置づけていた。紙ベース資料の皆無は困難であり、コスト削減も大切ではあるが、むしろ、効率的で迅速な議会運営と議会の活性化、議会事務局の事務の効率化を目的に導入すべきと思う。
- ③ 本市においても平成 30 年 4 月を目標にした議会 ICT 化の早期導入を強く感じた。

以上

# 平成28年度 議会運営委員会 行政視察報告書

平成29年2月7日（火）

報告者 ふじえ真理子

<視察先・テーマ> 愛知県安城市議会「議会のICT化の取り組みについて」

<安城市の概要>人口約18万人、面積約86km<sup>2</sup>。安城駅周辺では図書情報館を核とした複合施設（アンフォーレ）を建設中（2017/6月開館）。郷土ゆかりの作家 新美南吉の童話の世界をイメージしたまちづくりを進めている。議員28人。財政力指数1.19。

<視察の主な内容>

- ・議会ICT化の目指す姿を明確化（いかに活用し議会活性化させるか、市民との距離を縮めるか）
- ・iPadPro 12.9インチを採用。2つのアプリケーションを同時に立ち上げ画面分割が可能
- ・費用はデータ定額：月額約4,500円（公費2,500円、政務活動費2,000円、私費なし）  
契約形態はレンタル（買い取りだと市資産となり庁舎外に持ち出しできないから）
- ・タブレット端末を庁舎外に持ち出して議員活動を行うことが大前提←早期導入できた理由の一つ
- ・最低限のルール（議会中に録音、録画、音を出す、外部とのやり取りは禁止）
- ・市民への説明は自己責任
- ・H28年2月全員協議会でペーパーレス会議を試行、6月本会議にて実施。議会ごとに議員主体でタブレット端末操作講習会を実施、全議員のスキルを底上げ
- ・試行後のタブレット運用状況は、紙配布枚数（議案資料）の削減率は64.7%（H28/5～12月）
- ・今後の課題は、議員改選時のタブレット更新・保存データの取り扱いや、予算書・決算書の取扱いの方向性など

<ふじえの所感>

- ① 各会派から構成されるICT推進プロジェクトチーム（PT）の立ち上げ
- ② 議員主体の端末操作講習会（教え合う風土）
- ③ ICT化が目的でなくそれを使った議会のめざす姿が明確
- ④ 市民との距離を縮める努力
- ⑤ 議員活動での端末活用で議員も市民にもメリットがあることを知らせる
- ⑥ ペーパーレス化の限界その先も想定に入れた検討も始めている点
- ⑦ 先見性をもったPTが「この分野でトップランナーになりたい」とリードしていること
- ⑧ PTに信頼を寄せている他の議員たち
- ⑨ 市執行部への協力要請など積極的な働きかけ……

「財政力があるまちだからできるんだ」ではなく、思想信条が異なる議員一人ひとりが議会としての質を高めあっていこうという“やる気”がまず前提に。議会事務局のバックアップも非常に大きいと感じた。紹介いただいた会議システム（サイドブックス）やグループウェア（サイボーズ有料版）について、もっと研究してみたいと思った。

議会だけでなく、市執行部だけでもなく、県や国が出す紙資料の削減も機会あるごとに訴えていこうという姿勢も見習いたい。今回の視察は、ICT化の取り組みを通して安城市議会議員さんの日常の議員活動、会派活動の一端にも触れ、大変刺激になった。今期残りわずか2年。あれもこれもではなく、改革していこうというこの流れ（土台）だけはしっかりつくっておきたい。

# 議会運営委員会視察報告

近藤 千鶴

平成29年2月7日（火） 安城市 議会のICT化の取り組みについて

平成27年6月「議会ICT推進プロジェクトチーム」安城市議会ICT推進基本計画策定

○計画期間 平成27年度から平成30年度議会運営委員会承認の下、議会ICT推進プロジェクトチーム及び市執行部と協議する。

○基本事項として Active : 効率化・活性化など議会改革を積極的に推進する。

Next : ICTを積極的に活用した新たな議会運営を行う。

Join : 議会への市民参加と関心の向上を図る。

Open : 議会情報を分かりやすく市民に公開する。

○議会のペーパーレス推進—実施済みの事業

・ 会議開催通知、各種案内の電子化 ・ 一般質問 ・ 代表質問の通告書、通告文書の電子化

○議会のICT環境の整備—実施済みの事業

・ 議員控室へのノートパソコン・プリンターの配備 ・ 議員控室のWiFi化

○危機管理体制の強化—実施済みの事業

・ 議員の安否メール登録・利用

○セキュリティ対策の強化—実施済みの事業

・ パソコンウイルス対策ソフトの導入

まとめ

- ・安城市は議会のICT化に向けてICT推進基本計画を策定し進められていました。
- ・全議員が統一した機種にした方が操作教育しやすいので統一したそうです。iPadProはA4資料がそのままイメージで参照できるので採用されたそうです。費用は公費を政務活動費で、契約はレンタルにし庁舎外に持ち出しができるようにされました。
- ・本市でもICT利用に向けてのルール化をどうしたらよいか、議論を始めていますが安城市は利用規約などルール化をされています。
- ・iPadの機能を使いこなせるために事務局とプロジェクトチームの議員が繰り返し講習をし、議員活動で利用できるようになり平成28年2月には全議員ペーパーレス会議を施行できたそうです。
- ・本市においてiPad導入するなら統一した方が良いと思いましたが導入までにはまだまだ議論することが多いと感じますが議会通知、各種案内の電子化は事務局の負担軽減につながり本市でも始めてほしいと思います。